

生活創造しんぶん第15号

平成17年1月

編集・発行

県立姫路生活科学センター内
生活創造応援隊

西播磨生活創造大会

平成16年度の「西播磨生活創造大会」が『食の安全・安心』をテーマに昨年12月3日(金)イーグレ姫路で開催されました。

岡本坦中播磨県民局長のあいさつ後、自治賞(片木富美子さん)・くすのき賞(姫路市増位校区婦人会)、こうのとりのり賞(柳内翠さん、山田綾子さん)の表彰が行われました。

その後、有機農業研究者の保田茂・神戸大学名誉教授の「21世紀のくらし創造型の食生活を」の基調講演が行われました。

「20世紀型のくらしは環境破壊や健康を害するなどの問題が多くありました。石けんよりも合成洗剤が多く使われるようになってから河川が汚れ、めだかがいなくなったり、パン食派が多くなってお米の消費量が減った結果、減反になり田畑に雑草が繁茂しています。生産者も高齢化・減少化しているなど様々な課題があります。食べ物は自分で作るのが最も安全・安心なのですが、自給自足は難しいので生産者にそれを託しているという考え方が消費者にも必要ではないでしょうか。食べ物の選び方、食べ方、作り方を考え、21世紀にふさわしいくらし方を再創造していきましょう。地産地消を基本に考えましょう」と話されました。



西播磨消費者団体連絡協議会の研究班から「食の安全・安心消費者意識アンケート調査結果」「消費者による食の店頭チェック活動」の報告があ



り、これらを受けて、消費者と生産者、流通業者によるパネルディスカッションが繰り広げられました。

生産者として、「消費者と生産者の信頼関係を育てたい。『地産地消』の場をつくっていききたい。トレーサビリティをしっかりと、自信がもてる特産品づくりを進めたい。消費者の意見を聞き入れながら頑張っています。」との発言でした。流通業者は、「消費者に生産者の顔が見える販売を心がけていきたい。商品の形や値段だけにとらわれない売り方も考えていきたい。食事の大切さ、和食の良さなども提案していきたい。野菜の消費量が減っている。健康のためにもっと消費してください。」と説明がありました。

消費者代表は「偽装表示など信頼性に欠ける事業者が多い。疑問や要望をどんどん店に申し出て意見の反映をしてもらいましょう」との提言がありました。まとめとして、保田氏は、「消費者も表示などに関係する法律を学習する必要があるでしょう。食に関しては表示や安全性、環境問題、高齢者問題など多岐にわたっています。消費者が意見をどんどん出していくことが大切です。業者も消費者の信頼を得るには表示だけではむずかしい。生産者の心意気分かるような生産活動をお願いしたい。子どもや孫の健康を考えて本当の安全性を考え、地産地消をみんなに取り組んで欲しい」と結ばれました。

「くるくる発電所」って何？

—中播磨エコツアーを終えて—

地球温暖化を防止するためには、太陽光発電、風力発電など自然エネルギーの活用や私たちの家庭での省エネルギーによる化石燃料の削減が求められています。中播磨地球温暖化防止連絡会では、地球温暖化防止に関する普及啓発活動の一環として自然エネルギー見学会を実施し、38名の参加者がありました。

最初の訪問先は、神戸市の東灘処理場にある「くるくる発電所(太陽光市民発電所)」です。この「くるくる」とは、NPO 法人「コミュニティ・サポートセンター神戸」が提唱の循環型地域社会「くるくるコミュニティ」が原点となっており、「電気くるくる」「ゴミくるくる」「水くるくる」との構想だそうです。



発電容量は5kwの小さな太陽光発電ですが、その電気を利用して「生ゴミ処理機」「雨水循環装置」があり、さらに「水素社会」に向けて「水素発生装置」を設置し、見学者に啓発活動をされています。

現在、この水素を家庭用のガスコンロで安全に燃やす実験(メタンガスと混合?)をやっているとのことでした。このことは、化石燃料に頼らず自然エネルギーのみの循環を家庭内に実現することを目標としており、私たちの将来のあるべき姿を示してくれていると思いました。

次の訪問先は、神鋼 神戸発電所隣の科学の広場「灘浜サイエンススクエア」で、ここでは飛行機の翼に似た垂直翼の小型風力発電装置「そよ風くん」が設置されています。

長さ2mの垂直翼が回る「そよ風くん」



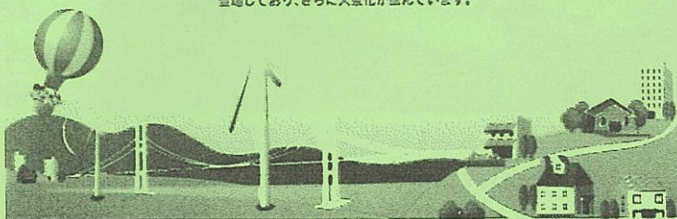
このタイプは風速が1m(大型プロペラ型タイプでは4~5m)から回転し、騒音もほとんどないので「小型であるので当然発電量は小さい」市街地の学校等にも設置可能で、環境教育向けに適している装置と思われます。このメーカーの説明によるとデンマーク、ドイツなどに比べ、現在の日本の風力発電割合は全体の0.5%と少なく、このことは今後温暖化防止のための二酸化炭素削減の有力方策となる可能性があり「風力の時代」を期待しているとのことでした。

最後に訪れたのは神戸市北区にある「麒麟ビアパーク神戸」で、工場での環境対策として「廃棄物ゼロ対策」や絶滅が危惧されているカワバタモロコの「ビオトープ」での育成など、環境への取り組みを聞きました。

参加者のアンケート回答によると「とてもよかった。循環型社会に向けての心構えが出来た。」との記述もあり、自然エネルギー導入などエコライフの普及啓発のため、楽しみながら有意義な一日を過ごせたと思います。

(応援隊 溝口章宏)

風速は大きくすればするほど発電のコストが下がるのが一般的です。
現在では、プロペラの直径が60メートル以上にもなる1500kW級の大型風車まで
登場しており、さらに大気化が進んでいます。



「生活創造習慣の中の防災意識」

昨年10月「姫路消費生活研究会」の主催により、元神戸海洋気象台観測課予報官で、防災アドバイザーへ転進された、山下順正氏を講師に演題「自然驚異と暮らし」の講演会が開催されました。「地球温暖化」によると考えられる天候の異変を感じ、いま一度防災に対する意識を学習したいと思い、参加いたしました。

今年は阪神・淡路大震災から10年になります。災いは思いもよらず起こるものです。昨年は南の海上で発生した28個の「台風」のうち10個が日本列島に上陸、しかも縦断しながら激しく「風と雨」で吹き荒れていきました。追い討ちを掛けるように最悪の事態が現実のこととなり、10月にはM6強の新潟県中越地震が起こり多くの方が被災されました。M4～5の余震も長く続く中、懸命の復旧作業も行われていますが、日常生活では不自由な暮らしを余儀なくされています。台風は各地で甚大な被害を残し、兵庫県下でも淡路地域と但馬地域が風水害に見舞われ、日々の生活及び伝統文化や特産品、農業の後継などにも支障をきたしているようです。

講演を聴きながら、古い記憶の中に、冬になり富士山に雪が降り、その雪が水となり地中にしみこみ浄化されながら富士山のすそのにきれいな水となり、再び私達がその水を「おいしく」口にするまで、7年～8年もの年月がかかるという話を思い出しました。

地球温暖化防止への努力に向けて、我々が個人単位でできる暮らしの中での気配りとは、「二酸化炭素を少しでも出さない努力」だと思います。

私たちが暮らしを営む中播磨は少し足を伸ばせば「海の豊かさ」があり「山の緑」があり「自然環境・自然条件」のそろった素晴らしい地域です。どうか、この生活空間を私たちの手で守りたいものです。

森林を残し、二酸化炭素を吸収し留保し、新しい吸収能力を持つ樹木を増やすこと、一方では根をよく張る樹木を増やし、雨の水を地表から地下へと導くことにより、森林自身の砂防効果と自然環境のリサイクルを維持することが多少なりとも可能になるでしょう。

気象情報を見るには「何が・いつ・どこで・どのくらい」の4条件を確実に聞いて下さいとのこと。必ず自分自身で確認し、もし災害に遭遇した時は「避難する勇気を持つ・家族で行動する」そして、二次的災害を防止し被害を拡大させないためにも、「電気・ガス・水道」の元栓を締めることだそうです。

今回の講師、防災アドバイザー山下講師提案の「防災避難リュック」を紹介しておきましょう。

これらの避難グッズをリュックサックに詰めて、災害の時にはいつでも持ち出せるご用意を！

いずれも明日は我が身です。お気をつけください！

(応援隊 遠入宏昭)

【防災避難リュック用品】

携帯必需品

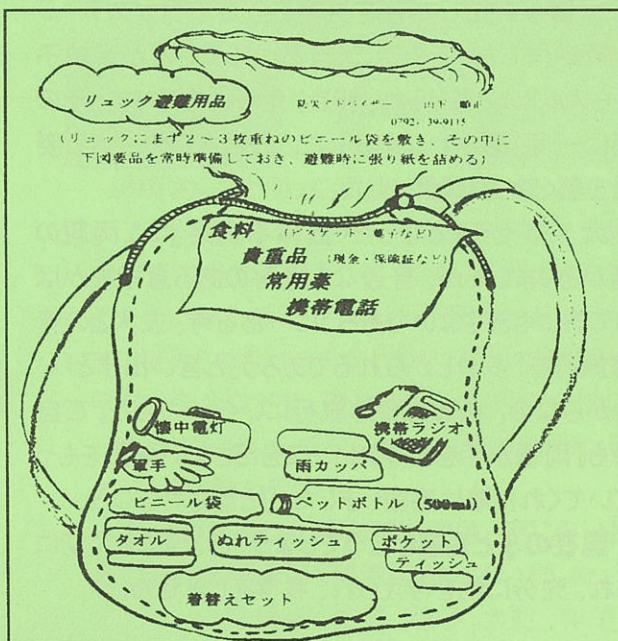
懐中電灯・軍手・携帯ラジオ・雨カッパ
ビニール袋・ペットボトル・タオル
ティッシュペーパー・濡れティッシュ
着替え数着・運動靴

携帯食料品

ビスケット・お菓子類
こんぺいとう・ドロップ類

《避難先で疲れの出たときの

疲労回復に一粒程度を口に含む》

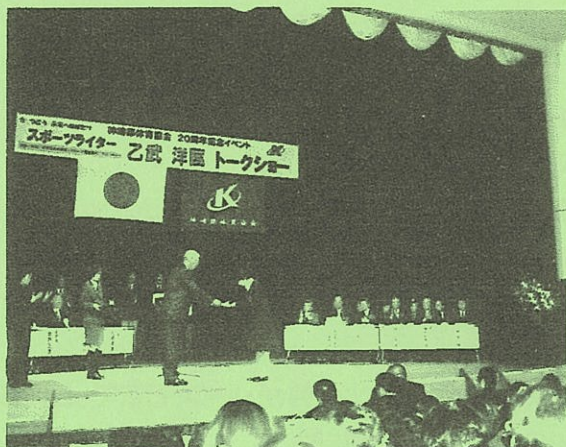


スポーツライター「乙武洋匡さん」トークショー

神崎郡体育協会（20周年記念イベント）

平成16年12月11日(土)福崎町文化センター大ホールは人、人、人で埋まっていました。

神崎郡体育協会が、式典と表彰式の後、このトークショーを企画されたのです。



担当の方の謝辞にもありましたが、従来なら動員で悩むのに事前の会議では人員整理のことばかりが問題になったとか……障害をもって生まれながらも明るく、力強く、人々に感動さえ与えてこられた乙武さんを知っているからこそその結果だと思います。

司会者とのトークの後、参加者からの質問を受けられましたが、どの質問にもきちんと言葉をつくして答えてくださいました。

ある参加者が乙武さんの絵本「プレゼント」を読まれた感想の後に「どのようにして走られるのですか？」との質問をされました。この言葉には誰もが一瞬、「はっ！」として老若男女、全員の目がステージに集まりました。その時ごく自然に乙武さんが車椅子からスルスルと降りられ、歩き、走られたのです。その姿に一同「ほっ！」としました。乙武さんの生きる姿勢を熱く感じた瞬間でした。

大ベストセラーとなった「五体不満足」にご両親の話がありましたが、普通なら障害のある息子をかばって外にも出さないであろうに……ある時、友人との青森旅行を「多分しかられるであろう」と言い出すと「いつからなの、私達も海外旅行にいくわ」でした。ご自身も『両親が手を出さない、口をださない勇気をもっていてくれた事に感謝しました。』と話されました。

現在の子供達はどうでしょう。あまりにも大切にされ、充分に物を与えられ、我慢をしません。

最近、残念な事にスポーツ選手の不幸事も多く報道されています。これは若者の心の弱さも然る事ながら、勝つこと以前にスポーツを通しての心の教育がなおざりにされている現実があるからと説かれました。けっしてほしい物だけを手に入れる事は出来ません。その為に何を我慢するか、しっかり心を定めていくことが大切なのだと話されました。

相撲界をどう思われるかについて「年6回の場所は日本人だけで競技し、その上で国際大会を開催する形がよいのではないかと」と提言された元横綱貴乃花の考えは最初心狭いとも思ったが、「相撲に命をかける」のではなく、「自分の命が相撲の中にある」という事をきいて「相撲は奉納」という精神を受け継ぎ、大切にしていかなければならないスポーツだと認識したと・会場からは拍手があがりました。心を大切に考えられた思いは熱く、賛同を得たのでしょうか。



「障害者は福祉の道へ」という固定観念を破りたいとの思いもあり、自分が一番楽しく過ごせる事を大切に選んだ道がスポーツライターという職業だったそうです。

好きな言葉は「ユニーク」、独特、唯一、自分らしいという意味がある由、社名にされているとか……

『今、ひとり、ひとりが自分も他人も大切に生きるならば、世間を騒がし、驚く様な事件は起きないのではないかなと思う。これからはライターとしてスポーツ選手の人間としての魅力をお子たちへ伝えたい、一生懸命努力している選手の汗や泥まみれのかっこよさを知ってほしい』と抱負をのべられました。

よくぞ企画をうけて頂いた！と感謝！

よくぞお越しいただいた！と感謝！

感激がここにあふれた一日でした！

(応援隊 小國 冷子)

『のじぎく国体』に向けて頑張っている人



2006
のじぎく兵庫国体
“ありがとう”心から・ひょうごから

2006年兵庫県下で『のじぎく国体』が開催されます。したがって今年は種目ごとにエントリーを狙うスポーツ選手にとっては、記録更新の強化年であります。私は家族が陸上競技場と姫路球場で売店を開いていますので、手柄山近辺で多くのスポーツ選手と出会います。

そのなかで、よく見かける人に注目し、声をかけてみました。その人の名は・井内次郎さん 25歳 槍投げの名手です。

中学時代に中播大会での砲丸投げ2位をきっかけに陸上競技を始め、高校でも槍投げや砲丸投げで数多く優勝されたそうです。大阪体育大学に通学中も後輩の指導にがんばっておられ、今は鍼灸の専門学院に通われていますが、鍼灸をグランドでの救急救助に役立てたいとの一念で勉強されているとのことでした。姫路市陸上競技協会 普及強化部に所属して陸上競技教室、県大会出場者強化練習会、記録大会などに必ず参加して、熱心に後輩の指導をされています。各高校の要請に応じて、出前の陸上教室などをボランティアで活動中だとか・・・

競技場で高校生がこの人に「あいさつ」や立ち話をしている姿をよく見かけた訳が分かりました。取材の日もグランドで後輩に筋肉の力学的瞬発力とそのためのバランスを熱心に指導中でした。



この人、眼が輝いている！

必ずメダルを取ってほしい人であります。
がんばってください！応援しています！

(応援隊 三木 勝)



～驚かせて楽しいボランティア～

香寺町いきがいセンターで町内のお年寄りの方々が参加されて、毎月一回行われるふれあい交流会をちょつとのぞいてきました。皆さん昼食や団樂、センターの工夫されたプログラムを毎回楽しみにされているとのこと。伺った日は健康福祉センターからの健康のお話と、手品をボランティアとして取り組まれている神崎一子さんの華麗な演技を見ることができました。

目の前で 1,000 円札が 10,000 円札に、3本のロープが 1 本につながったり、お年寄りの方々の目を凝らして見られている姿が微笑ましく、自然に(^^)も緩みます。極めつけは、かき混ぜた卵を帽子の中に流し込み、ひっくり返すと あっ！という間に目覚まし時計が

5～6 個といっぱいのお花が出る
わ出るわ……一生懸命に手元
を見つめていましたが、どこにタネ
があるのかさっぱり判らず・・(+_+)



《練習中の神崎さん》

神崎さんにどうして手品を始められたのですか？とお聞きしましたら、お年寄りに接する機会が多いので何か楽しく、皆さんが飲ばれることはないかと考え、マジックを選ばれたそうです。始められて4～5年になり、様々な施設や学校、会合などで、皆を驚かせたり笑わせたりと自分でも楽しんでおられ、あくまでもボランティアでの活動だそうです。

ご案内があれば喜んで出向き、演じたいと言われた顔が凄く素敵に輝いていました。

(応援隊 松尾 秋子・大野 律子)

天然の藍染めにチャレンジ

悠久の時空を越え、藍は生き続けると言われ、魅力ある天然藍染めの展示会と藍染め体験が、昨年 11 月 6、7 日に書写の里美術工芸館(姫路市書写 1223)敷地内「交流庵」にて開催されました。

かねてから興味のあった草木染め・・・期待して参加してきました。



体験コーナーでは直径約 50cm.高さ約 70cm.のつぼに藍の染料が入っており、常に 27 度に保てるように電気ヒーターが設置されていました。会場内には既に染め上った作品の数枚が風にそよいでいました。私は「ハンカチ」を染めたのですが、絞り模様をつけるために何ヶ所かゴムで巻いて布を絞り、固くもみながら 1 分間染料の中につけ、2 分間空気に触れさせ、これを 5 回くらい繰り返して、最後に水で良く洗います。ゴムをはずし模様が現れ、木陰で乾燥をさせます。化学染料とは違い、光の反射が目には優しいジャパンプルーの誕生です。月日を経ち洗い込んでいくとブルーがだんだん鮮明になっていき、藍は生きていと言われる所以だそうです。

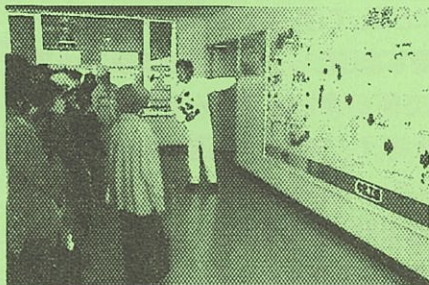
藍染めの効用としては、①薬用(藍葉、藍種は解毒解熱作用)②防虫、へび等も寄りつきにくいために野良着として用いる。③消臭、保温効果(武士の戦場行きの下着は藍染め)④藍染めは糸を強くするといわれ、よろい、剣道着、かぶとの紐などにも使用されています。

色の魅力だけではなく、さまざまな効用があることを知り、幅広く日常生活に活かしていきたいと思いました。

(応援隊 松浦 道子)

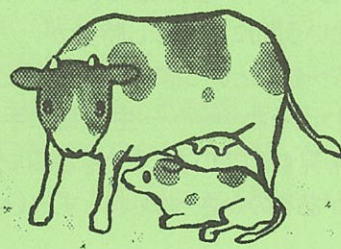
行ってきました「知ってみよう・飲んでみよう兵庫県産牛乳」見学ツアー

先ず小野市の藤岡牧場を見学しました。藤岡牧場では 160 頭の乳牛を飼育され、牛は繋がれることなく、広い柵の中を自由に行動できるフリーストール方式を採用されています。乳搾りは専用のスペースで搾るミルクングパーラー方式をとられていて年間生産乳量 780t、なんと 1 ヶパックで 80 万本分にもなるそうです。牛たちには一頭一頭タグが着けられていて、牧場主の方は全頭の顔を覚えられているそうです。年中愛情を込めた飼育をされ、美味しい牛乳が生産されているのだと実感しました。



次の訪問先は小野市の共進牧場です。食事後に工場の方・生産者を交えて牛乳の疑問・質問を投げかけ、詳しく説明をしていただきました。見学ルートから見た清潔な工場内で出来た牛乳も美味しく！県が奨める『地産地消』を考え、兵庫県産牛乳を見直せたツアーでした。

(応援隊 小林 美波子)



市川町地域創造市民塾

～ カルタで学ぼう相続・遺言 ～



全ての人は、生まれてからは死亡率100%の中で生きています。まだまだ先と思っていても突然やってきたりします。

未だ頭がしっかりしているうちに、学んで、考えて、残された仲の良い家族が遺産相続をきっかけに醜い争いをおこさないために、又、長い年月の誤解を解くきっかけとなるような、遺言書の作成方法を大谷女子短期大学講師の田中利美先生をお招きして老人クラブの方たちといっしょに学習しました。

ユニークなカルタに笑いあり、実感あり・・・

ここに残る数枚の文面をご紹介します。ご家族で参考にして下さい。

(市川町消費者の会 後藤 満里子)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ㊦ 形ある愛のあかしは遺言です | ㊴ 夫婦で書いた遺言書は無効です！ |
| ㊧ 兄弟姉妹には遺留分はありません | ㊵ 泣く泣くも 良い方をとる形見分け |
| ㊨ 苦勞して貯めてもあの世へもってゆけず | ㊶ 年号のない遺言(自筆遺言)は無効です |
| ㊩ 祭祀財産は相続財産と違います | ㊷ 平和な家庭を！！争族にならない相続を |
| ㊪ 住まい(借家)の権利あなたの遺産です | ㊸ みんな納得 みんな幸せ遺言書 |
| ㊫ 生前に前渡しされた相続分 | ㊹ 連絡がつかずに不明は失踪宣言を |
| ㊬ 贈与は生前の 遺贈は死後の資産処分です | ㊺ ワープロで打った遺言 無効です |

姫路生活科学センター セミナーご案内

平成 17 年 1 月 24 日(月)13:30～15:30

テーマ 損害保険を学ぶー災害に備えてー

講 師 (社)日本損害保険協会近畿支部 斉藤 健一郎

平成 17 年 2 月 2 日(水)13:30～15:30

テーマ 悪質商法の被害を防ぐ法律知識

講 師 弁護士 萩野 正和

平成 17 年 2 月 17 日(木)13:00～15:00

テーマ 安心して医療サービスを受けるために

講 師 姫路市医師会 牛田 伸一

各セミナー対象 一般消費者約50名

申し込み方法 セミナーごとに TEL または FAX でお申し込みください(先着順)

申し込み先 県立姫路生活科学センター 清水

『生活創造しんぶん』の愛称募集！

平成 14 年 9 月に創刊号発行より はや 15 号発行をむかえます！毎号取材に奔走する応援隊の掲載記事を、楽しみにされているファンの声も多く聞かれます・・・(^_^)／『しんぶん』の内容はやわらかく心温まる記事なのに名称が固い！との意見を受け、このたび愛称を募集しようと考えました。

『生活創造しんぶん』にどうかすてきな名前の応募をお願いいたします。(コーディネーター 玉田 裕子)

ー 愛称のご応募・お問い合わせ ー

姫路市新在家本町 1 丁目 1 番 22 号

姫路生活科学センター 玉田



～ご注意ください～

若者を狙うデート商法

異性間の感情を利用し、デートを装って契約させる《デート商法》の相談者の多くは、20 歳代の若者で、20 歳の誕生日直後に勧誘され契約しています。自宅や携帯電話に突然かかってきた電話で世間話をしているうちに、「友達になろう」「会いたい」と呼び出され、いつの間にか「将来のため。結婚には宝石が必要」などと勧誘に移り、アクセサリー・コート・絵画などを契約させられるケースが典型です。センターによせられたご相談を紹介します。

◆ **事 例** 1 年半前に、女性から「友人になって欲しい」と電話で呼び出され、駅で待ち合わせて店について行った。そこではアンケートに答えた後、営業員から宝石・貴金属の話を聞かされ、12 時間も勧誘を受けた。頭が混乱して 70 万円のダイヤの石を契約。2 ヶ月後に母にクレジットの請求書を見つけた。母が質屋で品定めをしてもらったら、20 万円ぐらいという。だまされたと思うがどうすればよいか。 (姫路市:20 歳代 男性)

※ **処 理** 契約後 1 年半も経過しており、不当性の立証が困難と思うが、契約時の長時間勧誘、質屋での商品鑑定などを根拠に交渉していくように助言しました。

◆ **事 例** 20 歳の誕生日をすぎたすぐの頃、自宅に男性から電話があった。その後、携帯で話をしているうちに会うことになった。デートのつもりで出かけると神戸の店に連れていかれ、世間話をしている内に宝石の購入を勧められた。最初は断ったが夜 9 時頃になり、(7 時間近く経過)このままでは帰れない感じになったので契約書にサインをしてしまった。しかし、ローン総額では 150 万円にもなり、高額なので解約したい。(姫路市:20 歳 女性)

※ **処 理** 契約後 1 ヶ月を経過していましたが、7 時間にもわたる勧誘で契約しないと帰れない気持ちにさせられたことから、消費者契約法による退去妨害による取消通知を内容証明で出すこと。また、信販会社にも同様の理由で支払い停止の抗弁書を出すように助言しました。その結果、信販会社は解除手続きをとったため契約解除できました。

◆ **事 例** 夜遅く女性から携帯電話がかかり、「暇なら遊びよう」と言われ、軽い気持ちで出向いたところ展示会に誘われた。最初は雑談をしていたが、店の人 2、3 人が加わりダイヤの指輪を見せられた。買うつもりはなかったがいつのまにか契約していた。指輪だけのつもりだったのに、契約書ではブライダルセット(ネックレスとペアリング)になっていた。2 ヶ月後また呼び出されパールセット(宝飾セット)を契約した。合わせて 240 万円にもなり、月々 4 万 5 千円位にもなり、支払いが困難で、必要のない商品だから解約したい。(姫路市:24 歳 男性)

※ **処 理** 具体的な解約要因はないものの、若者の社会的な経験不足や無知につけ込んで、短期間に同種の高額な商品を次々と契約をさせたことを主張して解約交渉するよう助言し、10%の解約料で合意解約になりました。

— 若者へのアドバイス —

契約する前には、この商品が本当に必要なのか、よく考え、はっきりと断わる勇気が必要です。甘い誘いにはのらないことが大切です。もし、契約をしてしまったら一人で悩まず、できるだけ早く、家族などまわりの人に相談して下さい。

☆ センターでご相談をご利用いただける時間 ☆

利 用 時 間	消費生活のご相談	9:00～12:00 13:00～16:00
	食の安全・安心のご相談	9:00～12:00 13:00～17:15
休 館 日	土曜・日曜・祝祭日・年末年始	

中播磨地域でがんばっているグループ がんばっている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。

2月10日までに原稿を郵便・FAX・Eメールでお寄せください。

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
県立姫路生活科学センター内 玉田